

池田町立宮地小学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 (奉仕) 国際理解・親善 (その他) ()
活動の単位	(全校) (学年) (委員会) クラブ (その他) ()
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 (特別活動) (総合的な学習) 児童会・生徒会活動 委員会・部活動 (学校行事) (その他) ()

1. 活動テーマ

体験活動を通して、思いやりの心・奉仕の心を育てる。

2. 学校紹介

池田町は濃尾平野の北西に位置し、本校は町の西北端の濃尾平野が眺望できる池田山麓の扇状地にあります。校区は、茶・梅の生産地、桜の名所としても知られています。また、県指定の古墳群(願成寺古墳)や土岐氏一族の墓、明和義民の碑等が点在する豊かな自然と歴史に囲まれた美しい所です。そうしたふるさとの自然や歴史を学校の教育活動に積極的に取り入れています。また、福祉施設との交流、日常のボランティア活動などを通し、思いやりの心・奉仕の心の育成をめざしています。

3. 活動内容

(1) 福祉施設でのお年寄りとのふれあい活動

4年生では、総合学習において福祉活動をすすめています。学校の近くにあるデイサービスセンター「清流の里みやじ」や「サンビレッジ宮路」との訪問交流を行っています。お年寄りの方は昔どんな暮らしをしていたのだろうなどとインタビューをしたり、一緒に遊んだり、歌を歌ったり、郷土に伝わるお話を劇で披露したりするなどの交流活動を行いました。これらの訪問交流を通して福祉の理解を深めると共に、思いやりの心を育てています。



デイサービス訪問

(2) 伝統的な活動の披露 創作劇「明和義民」

3、4年生では、「総合的な学習の時間」に地域の産業や歴史・文化について学習をしています。地域の方から昔の生活をうかがったり、宮地に伝わる昔話を聞いたりしています。4年生が3年生の時に総合的な学習の時間に調べた地域の昔話を劇「感謝の気持ちを忘れずに」にして発表しました。この宮地で江戸時代におきた百姓一揆の話です。ステージに上がり、大勢の観客の前で緊張しながらも堂々と発表することができました。今後とも郷土の伝統を知り、郷土を誇れる子どもを育てていきたいと思ひます。



明和義民感謝祭で上演

(3) 着衣水泳講習会

夏になると山間部でのゲリラ豪雨が発生したり、水遊びをしたりする機会も多くなります。万が一の時に備え、今回初めて着衣水泳講習会を行いました。水の事故の約8割は魚釣り、通行中、水遊び中などの服を着た状態で事故に遭っています。「着衣状態では泳ぎづらく体が沈む」という認

識が一般的ですが、本当は「着衣状態で無理に泳ごうとして溺水する」のです。衣服に含まれる空気には浮力と保温効果があり、特に靴は強い浮力を持ち、体が浮きやすくなることが分かりました。これまでの“泳ぎづらさ”から“浮きやすさ”への発想の転換を行い着衣状態での「浮いて救助を待つ」技術を体験し、少しでも水の事故を減らしていきたいと思えます。



日本赤十字社水上安全指導員 大梅 孝幸さん

(4) 環境学習 (アルミ缶回収と「ごみの探偵団」)

アルミ缶の行方を学習した4年生の子どもたちは、アルミ缶を原材料から作るより、アルミ缶から再生する方が資源を大切にできることやずっと安くできることを知り、驚いていました。そこで、アルミ缶を集める活動を始め、全校に呼びかけています。また、4年生は「ごみの探偵団」という活動を行っています。給食の時間に出る牛乳ピンのふたやデザート用の袋のごみなどを分別して集め、少しでもごみを減らそうとしています。毎日給食の前に分別する袋を用意し、全校のみんなに分別方法を伝え、給食後にそれを整理しています。この活動を続けることが4年生としての誇りとして感じており、みんなでごみの減量化に進んで取り組んでいます。



アルミ缶回収

(5) 学校の伝統を守る活動「みどりの少年団」活動

5年生では、桜の名所として「ふるさとの桜を守る」ために、地域の「桜を育てる会」のボランティアの方とともに桜を育てる活動をしています。学校にある桜の種を拾い、育てた苗を各地の植栽事業に提供しています。「第63回掛斐緑と水のまつり」において宮地小学校の「緑の少年団」は、緑化宣言を読み上げた後、桜の苗木を育てる活動をパネルを使って全員発表をしました。式典が終わってから、池田町長、掛斐川町長、大野町長らとともに記念植樹をしました。



町長と植樹

(6) 運動会での鼓笛

運動会では、毎年3年生以上で編成している鼓笛演奏を披露しています。長年続けているので、地域の方々や保護者の方々からの期待も大きいです。子ども達は、よりよい演奏にしようとして一年前から休み時間やクラブの時間を使って準備をしてくれています。運動会の練習でも、暑い日も一生懸命に練習してきました。見ていただいた方からの拍手は、子どもの励みになっています。



運動会で鼓笛演奏

ここがポイント	体験活動を行うことで、思いやりの心や奉仕の心を育てます。
ここがねらい	体験活動を行うことで、人々とふれあう喜びを知り、充実感を味わいます。
効 果	地域の方から教えていただくことにより、郷土への愛着がわきます。施設の方と交流することによって、人とふれあう喜びを知ることができます。 ボランティア活動を行うことで、奉仕する喜びを知ることができます。
学校等のコメント	自分たちの住んでいる地域を知ることによって、郷土を誇れる子どもを育成しています。ボランティアや奉仕活動を行うことによって、よりよい学校、住みよい学校にするために進んで活動に参加する児童が増えてきています。

担当者氏名： 北川 量三